

スポーツ基本法8月24日より施行

50年ぶりに、スポーツ基本法が改定されました。「スポーツ立国戦略」として、新たなスポーツ文化の確立を目指しています。

基本的な考え方として

1. 「人（する人、観る人、支える（育てる）人）の重視」

すべての人々のスポーツ機会の確保、安全・公正にスポーツを行うことが出来る環境の整備

2. 連携・協働の推進

・トップスポーツと地域スポーツの好循環の創出

・新しい公共の形成等による社会全体でスポーツを支える基盤の整備

そして、5つの重点戦略の中の第一に「国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむ事が出来る生涯スポーツ社会を実現する。」つまり、総合型地域スポーツクラブの推進が、第一に掲げられています。法律で総合型地域スポーツクラブの推進が保障されたのです。

ところで、日本の総合型地域スポーツクラブは、ドイツをモデルにして推進しています、ドイツでは、1950年代後半にスポーツ立国を目指す政策を提唱して15カ年計画で実施されました。その後も10年周期で新しいスローガンを掲げ、スポーツ振興キャンペーンに取り組んでいます。現在、9万1千のクラブに3千万人の会員が所属しています。

ドイツのスポーツ振興計画は、第一の道として、各種スポーツ施設の拡充に国家威信を懸けて莫大な予算を投じて拡充に取り組む。

第二の道として、ソフトウェアの開発を意味した、ニュースポーツプログラムの導入と運営を目的とする、いわゆる「総合型地域スポーツクラブ」の創造です。

第三の道として、ドーピングや人権軽視による勝利優先の競技スポーツに警鐘を鳴らすとともに、自国の健康的・安寧的な市民スポーツの意義と重要性を訴え、世界各国に健康志向のスポーツ観を定着させた。

第四の道として、「スポーツボランティア」の啓発運動をスタートさせ、積極的なスポーツボランティア参加が「地域とスポーツとの共生」を体現し、豊かなヒューマンライフを保障するというものです。

第五の道として、戦後多民族国家となって民族問題による摩擦や衝突が起こり、その解消に「スポーツによる融和」をスローガンにした政策です。民族の垣根を取外し、幼児・少年少女に早期から地域スポーツクラブへの入会を促すキャンペーンは、差別のない社会と平和的な国民生活の創造を約束するものです。

日本は、約3200のクラブ数で約100万人の会員です。ドイツには、まだまだ遠く及びませんが「スポーツ基本法」の成立で総合型地域スポーツクラブの推進に勢いがつけば、当初の目標の1万のクラブ設立も可能になってくると思います。宮崎市でも「体育指導委員」から、来年1月からは新しく「スポーツ推進委員」となります。まだまだ、宮崎にはいくつもの総合型地域スポーツクラブが必要です。是非、積極的な関わりを持って頂ける事を願っています。間違っても、クラブ設立の抵抗勢力だけにはならないようにお願いします。「みんなのスポーツ」より抜粋

宮崎市体育指導委員新人研修会

6月4日（土）：市総合体育館会議室
平成23年度最初の研修会として「体育指導委員新人研修会」（19:00～21:00）を開催しました。

研修には新人19名（22名中）だけではなく経験者も含めて43名と多数参加していただき、体育指導委員の心得や意義・役割等を学びました。簡単なWS（ワークショップ）形式で行いましたので、委員同士の交流にもなった様です。（研修部長 松竹昭彦）



宮崎市体育指導委員自主研修会

9月3日（土）：シーガイア海浜公園
ノルディックウォーキングを行いました。約20名の参加者があり、楽しい時間をすごせました。

ポールを使って歩くのだから、楽勝と思ったのですが、とんでもない！結構腕と足にきました。最初は杖とと思っていましたが、トレーニングの道具だと悟りました。皆様も是非始められたらと感じました。



この姿勢！
すばらしい！！



第1回宮崎県体育指導委員自主研修会

8月20日（土）：県武道館
7つの能力を高める「コーディネーショントレーニング」の実践練習、「スポーツ基本法」「体指の役割」の講義、「東北大震災の災害支援活動報告」を受けた後、午後から杉元副会長を講師に初体験の「ビーチボールバレー」の実技指導が行われました。研修の1週間前に宮崎市体指の役員数名でルール、実技練習の勉強を行い、当日は各コートの責任者として支えました。多数の参加者（98名）があり、和やかな雰囲気の中、楽しく、有意義で充実した研修会となりました。



第14回宮崎市地区対抗ミニバレーボール大会報告

開催日 8月28日 7:30～16:00（体指実働時間）

会場 宮崎市総合体育館

体指動員数 27名

参加チーム 80

成績（優勝のみ）

- 男子39歳以下 中央地区（中央）
- 男子40歳以上 生目台（生目台西）
- 女子39歳以下 江平（RVBITO）
- 女子40歳以上 高岡（高岡B）
- 60歳以上混成 大宮（下北町南）

大会運営は良好でしたが、2名の方が肩の打撲・膝の靭帯損傷でケガされたのが、残念なことでした。



宮崎市障害者スポーツ大会 (協力事業)



9月最終日曜日、生目の杜はんぴドームで、約270名を集めた「障害者スポーツ大会」が行われました。体指は、競技運営をすべて担い、14種目の競技を約60名の大学生や中学生のボランティアスタッフを動かしながらこなしていきました。さすが体指。

依頼されたNPO法人も喜ばれていました。



お知らせ



総会時に在庫備品として報告のあった備品が行方不明になっていましたが、ある地区の倉庫にありました。改めて報告させていただきます。

| 23年度備品 | |
|-------------|------|
| : アキュラシー | 1セット |
| : フラインディスク | 20枚 |
| : 室内ペタンク | 2セット |
| : ハンドマイク | 1個 |
| : カメラ | 1個 |
| : FAX機器・ソフト | 1セット |

全国都道府県の総合型地域スポーツクラブの育成状況

文科省のスポーツ振興基本計画では、「全国各市町村に少なくとも1つの総合型地域スポーツクラブをおく」としている。平成23年度におこなった調査によると総クラブ数3241クラブ(2011.7現在)、全国市区町村数1747中1318市区町村がクラブ創設・創設準備であり、育成状況は75.4%である。会員数は約100万名(H23.6現在創設除く) 100%達成の県は7県(秋田・富山・兵庫・島根・佐賀・長崎・大分)、全国平均75.4%の中、宮崎県は57.7%です。



宮崎県の総合型地域スポーツクラブの現状

別表のとおり10月現在の県内クラブ数は、23クラブが設立・3クラブが設立準備中である。

みやざき広域スポーツセンターの調査によると、年齢構成は50～70歳55%・小学生22%・10～40歳17%・中学生6%である。

競技スポーツよりだれでもできるニュースポーツ・健康運動の種目が多く取り入れられているのが特徴である。その為にシニア世代が半数占めている。スポーツ以外にも文化講座もおこなうところもみられる。

宮崎県は宮城県に次ぎ育成率ワースト2位です。育成率アップの牽引役として、スポーツ推進委員の私たちは大きく期待されている。

| NO | 地区 | クラブ名 | 設立 | 年数 | NO | 地区 | クラブ名 | 設立 | 年数 |
|----|-----|-----------------|-----|----|----|------|----------------|-----|----|
| 1 | 宮崎市 | NPO法人東大宮スポーツクラブ | H15 | 8 | 14 | えびの市 | 真幸ホットほっとクラブ | H18 | 5 |
| 2 | | みやざき中央スポーツクラブ | H18 | 5 | 15 | | いいの夢クラブ | H19 | 4 |
| 3 | | NPO法人佐土原スポーツクラブ | H19 | 4 | 16 | | いい汗加久藤クラブ | H20 | 3 |
| 4 | | 住吉スポーツクラブ | H19 | 4 | 17 | 都城市 | 高城スポーツクラブ | H19 | 4 |
| 5 | | MIYZAKIうづらaiクラブ | H19 | 4 | 18 | 三股町 | みまたスポーツクラブ | H20 | 3 |
| 6 | | 半九レインボースポーツ | H18 | 3 | 19 | 高原町 | 神武くんスポーツクラブ | H19 | 4 |
| 7 | | 青島スポーツクラブ | H23 | 創設 | 20 | 西都市 | 西都スポーツクラブ | H20 | 3 |
| 8 | | 檜フェニックススポーツクラブ | 準備 | | 21 | 西米良村 | メラスポチャレンジクラブ | 準備 | |
| 9 | | 木の花スポーツクラブ | 準備 | | 22 | 日向市 | ひむかYOUゆうクラブ | H19 | 4 |
| 10 | 日南市 | 東郷スポーツクラブ | H18 | 5 | 23 | 都農町 | 都農enjoyスポーツクラブ | H23 | 創設 |
| 11 | 串間市 | 串間スポーツクラブ | H22 | 1 | 24 | 延岡市 | 南方ワイワイスポーツクラブ | H21 | 2 |
| 12 | 小林市 | 小林元気クラブ | H20 | 3 | 25 | 日之影町 | ひのかげきらめきクラブ | H22 | 1 |
| 13 | | クラブのじり | H22 | 2 | 26 | 五ヶ瀬町 | 五ヶ瀬スポーツクラブ | H23 | 創設 |

高岡地区の活動紹介

晴天の下盛大に開催された「体力づくりスポーツ大会」



昭和62年から始められた高岡地区体力づくりスポーツ大会が10月9日に開催されました。今年は晴天に恵まれ全競技に131チーム、956人が参加しました。種目は女性が年代別ミニバレーボール、男性は年代別ソフトボール、高齢者にはグラウンドゴルフとゲートボール、その他年齢に関係なく参加出来る玉入れ（アジャタ）競技に参加者全員が心地よい汗を流しました。チームは各自治公民館を中心に編成され、白熱した競技と、その後の反省会を通じ親睦を深めることができました。企画、準備、運営を高岡地区体育会、自治公民館連絡協議会が行いました。また高岡町グラウンドゴルフ、ゲートボール協会の協力で全競技一人のけが人もなく無事終了しました。（*アジャタ競技の用具は市総合体育館で保管、管理）



50歳代
ミニバレーボール混合



人気のグラウンドゴルフ

他競技に比べ年々参加チームが増えるグラウンドゴルフ。今年は63チームが参加しました。団塊の世代の退職なども一つの要因なのか。会場は昨年と同じ場所のため、この競技だけ時間延長。「待ち時間が長かった」との参加者からの声もあり来年に向けての課題となりました。



興味の玉入れ（アジャタ）

4年前から取り入れた玉入れ（アジャタ）競技に7チームが参加しました。老若男女誰でもできるように高さを調整し競技。大会に備えた2日間の練習日には体育指導委員が指導。練習を重ねるとタイムが短縮し、大会では1分を切るチームも。以外に運動量の多さに参加者からは「けっこう疲れます」との声もありました。



編集後記

今年度の広報部の目標は、年三回の体指だより発行で内容は①体指協議会の活動報告・②地域で頑張っている体指の活動紹介③他県や全国の体指の動きなどの掲載です。皆で一丸となり、「体指だより」づくりに励んでいます。

地域の活動状況を始め、いろんな情報をお寄せくださいますようお願い致します。みなさまのご意見・ご要望をお待ちしています。

広報部一同



広報スタッフ紹介

部長 坂永途美子(住吉) 副部長 藤田眞次(高岡)

部員 坂元孝夫(倉岡)・長友ひとみ(江平)・本部伴典(穂)・杉元雅代(東大宮)・長友秀樹(清武)